

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																					
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ										12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ										12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。														16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範を整備し社内研修を実施している。															16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】自社開発の健康体操、サプリメント等の商品、ジム運営システムについて知的財産権の取得を進めていく。								8.2			9						
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に対する基本方針を定め公表し、社内全体で取り組むことを徹底している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	人権侵害・ハラスメント・汚職・贈収賄防止について社内研修し、徹底した防止に努めている。					5			8			10	12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービス提供時に想定されるリスク、改善点を常に社内研修し、より良い仕組みとなるよう努めている。			3.9								12.4						
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	利用者様からの声を大切に、社内会議・研修により向上したサービスを提供できるよう努めている。															9			
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	無害でより効果的な健康商品(体操・サプリメント等)の開発に努め、社内会議によりより最適な商品に向上させる。						6					12	13	14	15				
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	健康寿命延伸に向けたメタボリズム(肥満)・ロコモティブシンドローム(運動機能低下症)・フレイル(虚弱)を防止改善させるための体操・サプリメント等を研究、開発する。医療機関とも提携し、骨密度測定などもサービスにとりいれている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																							
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本				4							9		11	12		14	15		17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ				4									11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ											8	9		11	12	13				
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本											8	9							17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本																			16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																			16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																			16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ												9		11		13	13.1		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ												8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
マンパワーによる健康づくりの普及	体操教室依頼はエリアを選ばず熱意をもってどこへでも足を運ぶ。全ての人に平等に健康作りのための体操を配信する。																	
体を動かすことで内からの健康を目指すことの普及	健康とは自らの力で作ることでであると提唱し、体を動かすことの大切さを発信している。医療や薬に頼る前に自己免疫のレベルを上げることの重要性を提案。																	
基礎代謝を上げるために筋力を養うことの提案	基礎代謝を上げるためには筋肉量・筋力量を増やすこと、またそれによりアンチエイジング・健康寿命延伸につながることの重要性を提唱している。																	
健康作りのために必要な食事の提案	生活に必要な適切な食事のタイミング、糖質・タンパク質・脂質の必要性。過度な食事制限、無理なダイエットよりも適切な食事と運動の関連性を提唱。																	
医療・薬に頼り過ぎないための提案	予防医療とは何かを考え、内から作る健康が一番であると提唱している。内から作る健康の延長線上に確認医療があり、健康寿命延伸に必要な体を動かす健康づくりの大切さを発信している。																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）